

平成26年度第1回千葉市青少年センター運営審議会議事録

1 日 時

平成26年7月9日（水）午前10時から11時30分

2 場 所

千葉市南部青少年センター2階会議室

3 出席者

(委 員)

佐々木委員 齊藤委員 池田委員 石川委員 川島委員 服部委員 小高委員
山本委員 稲葉委員

(事務局)

廣森生涯学習振興課統括管理主事 木澤所長 加藤所長補佐 川崎主査補

4 議 題

- (1) 平成25年度事業報告について
- (2) 平成26年度事業計画について
- (3) その他

5 議事概要

- (1) 平成25年度事業報告について

事務局から主催事業の実施結果・施設の階層別利用状況、利用登録の状況・施設の部屋別稼働率・併設するみやこ図書館白旗分館利用者数について説明し、質疑応答が行われました。

- (2) 平成26年度事業計画について

事務局から施設運営方針を述べた後に、在学青少年対象事業、青少年・一般対象事業の計画を説明し、質疑応答が行われました。

- (3) その他

事務局から、次回審議会の開催予定について説明しました。

6 会議経過

○事務局

開 会

委員の辞任に伴う辞令の交付を行いました。

○会 長

議題(1)の平成25年度事業報告について事務局から報告をお願いします。

○事務局

議題(1)平成25年度事業報告について、主催事業の実施結果・施設の階層別利用状況、利用登録の状況・施設の部屋別稼働率・併設するみやこ図書館白旗分館利用者数に

ついて報告しました。

○会 長

事務局から報告のあった内容についてご意見ご質問はありますか。

○会 長

先ほど、利用者数が減少した理由の説明がありましたが、当センターのような施設は、千葉市で1か所となっています。利用されている方は、千葉市内のどの辺から来ているのか、遠くから来ている利用者はいましたか。

○事務局

日頃、利用され登録している方では、中央区、美浜区、若葉区が多いです。また、主催事業のときめきサタディに関しては、申込みの際、統計を取っています。近隣の蘇我小、大森小、宮崎小、大巖寺小の児童の参加者が多く、7割近くが中央区です。続いて多いのは緑区、稲毛区、若葉区の順です。夏休みに行うサマーチャレンジについては、中央区が5割、続いて緑区、稲毛区、若葉区と続き、若干エリアが広がる傾向があります。

○会 長

遠い所から参加されているのは、HPへの掲示やPR等の成果だと思います。

このまま続けてほしいですね。

次に、施設の維持・管理について質問はありますか。

○委 員

施設維持について、費用がすごくかかっていますが、委託業務約1千万円の内訳の項目1番から13番で一番費用がかかっているのは何ですか。

○事務局

多い順から言いますと、1番の冷暖房・清掃・夜間受付などを委託している庁舎管理業務委託、2番の夜間・休館日の機械警備を委託している機械警備委託、高圧電気設備保安業務の自家用電気工作物保守管理委託です。委託業務のほとんどが、法的実施を要する保守委託です。

○委 員

4番、5番の一般廃棄物処理委託、産業廃棄物処理委託は、どうして費用がかかるのか、市の方でやってもらえないのですか。それから、1階の入口に置いてあるごみ箱の排出量はどのくらいあるのですか。家庭ごみと同じぐらいの量でしょうか。

○事務局

入口のごみ箱に捨てられている以外に、屋外の落ち葉なども集めて出しています。

○会 長

家庭からの出し方が変わって葉などは、透明の袋に入れて出すようになっていますね。事業所は重さですか。

○事務局

はい。事業所は、可燃ごみも資源物も全部有料となっています。

○委 員

これだけの費用を支出して維持できる価値があるのか考える必要があると思います。その費用を利用者に一部負担してもらえれば、500万円位に減るのではないかと思います。

ます。

○会 長

次に、事業の講座について質問をお願いします。

サマーチャレンジは、抽選にしたとのことですが、実際には20名が限度なのでしょうか。参加人数を増やせないのですか。

○事務局

工作ですので、工具を使うので安全面から考えて増員は難しいです。

○会 長

事務局から説明のあった平成25年度事業報告について、ご承認いただける方は、挙手をお願いします。

—挙手多数により承認されました。—

○会 長

それでは次に、議題(2)平成26年度事業計画を事務局で説明をお願いします。

○事務局

資料に基づき、平成26年度施設運営方針を述べた後に、事業計画について、現状を踏まえながら説明をしました。

○会 長

事務局から説明のあった平成26年度事業計画について、ご質問等がありましたらお願いします。

○委 員

蘇我中学校ですが、3ページに昨年度の状況の中に千葉市中学校演劇部発表会とありますが、本校演劇部は3月の関東大会では銀賞の成績を修めました。練習の場としてホールを借りていますが、センターのすぐ隣にありますので、地域の繋がりを大切にしたいと思っています。演劇部の子ども達も意欲的に取り組んでいますし、照明では専門的なことをやっていました。このような活動が地域との繋がりと良いと思いますのでよろしくお願いします。

○会 長

施設運営の重点目標(1)⑥に、社会福祉協議会、自治会など地域の各種団体と連携で行い、地域で開かれた事業を展開するとあります。地域全体で子どもを見て行くことが求められていますが、町内会、学校PTAとかでも会長になる人がいない状況の中、それをさらに広げるのは、なかなか難しいと思います。

しかし、その中心としてセンターが位置づけられているのは、すごく重要だと思います。

○委 員

(4)に防災計画の強化を図るとありますが、備蓄食料や毛布の確保はどの位の量なのですか。

また、どの位の範囲、どの位の人数に対応できるようになっていますか。

○事務局

千葉市の防災対策課から、防災用備蓄品など平成24年度から多くて200人分位ですが、少しずつ送られてきています。

○会 長

学校の方は、どうですか。

○委 員

市から同じく送られて来ています。

○委 員

学校に避難してきて生徒に備蓄品を渡すのか、避難して来た方に渡すのか問題となっていますが、こちらを避難所としているのは、東日本大震災のようになった場合、この地域は団地などが多いのでどうなのでしょう。

○事務局

この近くでは、蘇我中学校と当センターが避難所になっていますが、避難される町内自治会名が決まっています。また、避難運営委員会が設置されています。今年度も8月31日に「九都県市合同防災訓練」を実施する際、避難所開設・運営訓練も実施します。先日も第1回避難所運営委員会を開きました。

避難所ごとに、町内自治会が決まっていますが、この地域に勤務していて帰れない帰宅難民の方も避難されてきます。先の東日本大震災も4、5人の方が避難してきました。

○委 員

未知のことですが、地域連携のもとやっていただければ良いと思います。

○会 長

町内会に入っていない方も避難してきます。2つの避難所が連携して進めていることは分かりました。他に質問等ありますか。

○委 員

このセンターを使っている方の中に、幼児はいますか。また、どんな内容でしょうか。

○事務局

幼児のグループはあります。幼児を対象に英語を教えているグループもあります。

○委 員

地域の子育ての方に対して、幼児向けのグループがあるのであれば、施設として催し物がありますか。このセンター以外に近隣にありますか。

○委 員

近隣の宮崎公民館や自治会館等を使って実施されています。社会福祉協議会の一部としても実施しています。他にも共栄会館も使われています。

○委 員

南部青少年センターとして、子育てのお母さん向け、幼児向けの催しや講座ができれば巾が広がると思います。そして小学校入学後も利用するようになるのではないのでしょうか。そうすれば年齢層も広がってくると思います。

○会 長

対象者の年齢を下げると、そこに参加した方がまた使ってくれる。年齢層がさらに広がってくると思います。センターの活動の中で広げていくことができますね。センターとして放課後子ども教室と似たようなことが、講座の中で出きると思います。

○委 員

子育て中のお母さんを対象に、そういう拠点として、交流の場としてセンターで行う

のであればもう少し変わると思います。

○会 長

勤労市民プラザ、きぼーる等でも実施していたと思います。

○委 員

各公民館に子育て支援サポーターとして、各区にあると聞いたことがあります。

○会 長

この近くで行っている若いお父さんお母さんに、センターでできるのか検討してもらえればと思います。

他にないですか。

○委 員

市立稲毛高校ですが、市内に2校ありまして、本校は創作エイサーでゆめチャレンジに出演してもらいましたが、私は、毎年附属中学校の入試と重なるので、見に来られませんでした。

市立千葉高校の校長とも話すのですが、県立と比べて非常にたくさんの予算をいただいております。本校は英語で年間、生徒が140人、職員も14人海外へ行っていますので、地域に還元していこうと考えております。先ほど英語の講座の話がありましたが、ネイティブスピーカーが5人いますが、契約の関係で学校以外の業務は無理です。でも、生徒はE S S、プレゼンテーション等を中心にやっておりますので、決まった文を話すのではなく、思ったことを全てアウトプットしていくことをしています。そういう部分で声を掛けていただければ生徒のお手伝いも大丈夫だと思います。また、本校は英語、市立千葉は理数科に力を入れていますので、活用できると思います。

○会 長

その他ありますか。

○委 員

災害の件についてですが、千葉市自体を防災に強い都市にしたいと聞いていますが、災害に対してどのような所を強くしたいのか、建物自体の耐震度はどの位なのか、細かいことが計画書に入っていたら分かり易いと思いました。

○事務局

当センターのIs値が0.89あり、0.6あれば合格と言われております。昨年度から避難所運営委員会ができました。避難訓練も日曜日に実施しましたが、施設を貸出ししており利用されている方がいる状況の中で行います。今年は、レベルアップをしなければならぬし、災害がいつ来るか分かりません。自治会の方もいつ来られるか分かりませんので、会議室にて図上訓練を実施し対応したいと思います。

○会 長

事前の備えも必要ですし、災害が起こった場合も情報をどうするのか、色々な事を考えなければいけないと思います。

その他は、いかがでしょうか。

○委 員

ときめきサタディの3番と4番は夏休みに行う講座ですが、もっと夏休みのことを前面に出して広報をしたら、さらに広い地域から応募があり、サマーチャレンジ講座と同

じように多くの地域から集まるのではないかと思います。また、ゆめチャレンジの時、展示スペースに何か違う成果発表の展示をすると良いと思いました。

○事務局

展示スペースは、2階の廊下になりますが、昨年度は、施設を利用されている団体の絵画の展示を行いました。また、ゆめチャレンジの時は、2階、3階は、発表団体の控室になっています。センターは複合施設になっていますので、昨年度から1階のラウンジにて、みやこ図書館白旗分館と白旗エリア子どもルームに移動式掲示板にそれぞれ掲示をお願いしました。子どもルームは、子ども達が作った作品を展示してもらいました。白旗分館は、図書館の案内の掲示など連携して行いました。

さらに、淑徳大学生が企画した昔の遊びコーナーを設置して行いました。スペースが限られていますので、それぞれの施設の配置決めが難しいです。

○委員

図書館は、どんな内容のものを掲示したのですか。

○事務局

本の紹介や幼児向け、小学校低学年・高学年向けや中学生向けなどの本の紹介も兼ねて展示をしていました。今年度は、さらに工夫した展示を行いたいと思います。

○会長

施設が狭いと、展示も難しいですね。淑徳大学の学生協力のもと昨年度より見やすいような展示をお願いしたいと思います。

その他どうでしょうか。

○委員

講座の内容枠を広げたらどうですか。今小学校では、子ども達の携帯電話の使い方について情報モラル的なことが問題になっています。企業とのタイアップをすとか、あるいは、振り込め詐欺の防止のための対応について警察とタイアップするとか方法があると思います。

○会長

子どもが、携帯電話を使うにあたり、色々な環境等が考えられるのでどんな内容がいいのか抽出が難しいと思います。

○事務局

今年度「青少年と犯罪」の講座を行います。今後、意見を参考に取組んで行きたいと思います。

○会長

難しい問題ですね。犯罪に巻き込まれていることもありますね。私もそういう仕事をやっていますので、犯罪も数としては減っていますが、その中身が難しくなっています。他にありますか。

それでは、事務局から説明のあった平成26年度事業計画について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。

—挙手多数により承認されました。—

○会長

それでは次に、議題(3)その他について、何かございますか。

事務局は、ありますか。

○事務局

ありません。

○会 長

以上ですべての議題審議を終了しました。ご協力ありがとうございました。

事務局から連絡事項はありますか。

○事務局

連絡事項でございますが、第2回の運営審議会は、2月頃の開催を予定しておりますので引き続きよろしくお願いたします。

各委員の皆様から頂きました貴重なご意見を、今後の事業運営に活かしてまいりたいと存じますので、今後ともよろしくお願いたします。

本日は、ありがとうございました。

— 閉 会 —

問い合わせ先：千葉市教育委員会生涯学習部

南部青少年センター

TEL 043-264-8995

FAX 043-268-1032

Email-nambuseishonen.EDL@city.chiba.lg.jp